

令和6年度職業能力開発推進者経験交流プラザ

「これからの外国人材の活用」～育成就労制度スタートは2027(令和9)年(予定)～

第1回（製造業編）を開催しました。

人事・研修担当役職員を対象に、職業能力の開発及び向上に関する経験交流の場を提供する当事業について、本年度は外国人材の活用をテーマに開催。

第1回目は、製造業事業所を対象とし、講演及び経験と意見交流（ワークショップ）を開催しました。

開催日時 令和6年12月11日（水） 午後2時～4時30分

場 所 京都テルサ 東館 2階視聴覚研修室

出席者 参加者45名



第1部 講演及び事例発表

外国人材の育成就労制度の背景や制度の説明及び課題となる日本語教育についての講演と、外国人材の受入事業所による事例発表をいただきました。

1 講演

- (1) 演題：製造業事業所での外国人材活用（育成就労制度）
～京都府内での技能検定試験現場から～

講師：京都府職業能力開発協会 嘱託職員 木村兼喜

- (2) 演題：外国人材の日本語教育～現在とこれから～

講師 元京都府国際センター常務理事 内藤義弘 氏



2 事例発表

- (1) 株式会社カナモリ（ベトナム技能実習生受入事業所） 常務取締役 今西 健郎 氏
(2) 田中精工株式会社（インドネシア技能実習生受入事業所） 取締役 工場長 田中 良寿 氏
(3) 株式会社朝日計器製作所（ミャンマー技能実習生受入事業所） 取締役 村木 健二 氏

第2部 意見交流のワークショップ

ファシリテーター：京都産業大学現代社会学部 教授 鈴木 康久 氏

ワークショップでは、ファシリテーターや講師・事例発表者を交え、参加者が外国人材の育成等について自社の取組を紹介し意見交換を行うことで、課題や対策、改善方法等を共有し、それぞれの職場の職業能力の向上をとともに考えました。